

ブラジルの守り崩せず

○：PK戦に敗れて優勝は逃した日本代表だが、ブラジルの厳しい攻めをしのいで最後までゴールを許さなかった。初めてのメンバーも起用して連係面で難しさはあったが、大会の3試合を無失点で終え、大熊監督も「守備に粘りも出始めている」と評価した。

守備ラインを統率する増嶋主将も強豪のブラジル相手に失点ゼロに抑え、「ボールを取れない相手に対し引いて守ることはできた。裏をとられて崩されることもなかった」と振り返る。